

いまを感じる - この映画3本



harappa映画館 #32
2019.11.23 sat

「さよならくちびる」
© 2019「さよならくちびる」製作委員会

スペースアストロ 弘前中三8F
[青森県弘前市土手町49-1]

◎ チケット取扱

弘前中三、まちなか情報センター、弘前大学生協
コトリcafe (弘前市立百石町展示館内)

◎ チケット ※各回入替制

1回券 前売 1,000円 当日 1,200円 学生・会員 500円
3回券 2,500円 前売りのみの取扱

10:30 『夜空はいつでも
最高密度の青色だ』

13:30 『きみの鳥はうたえる』

16:00 『さよならくちびる』

◎上映後シネマトーク[ゲスト:塩田明彦監督]

主催 / NPO法人 harappa (弘前市市民参加型まちづくり1%システム活用事業)

予約・問合せ / harappa事務局 0172-31-0195(平日9時~17時), post@harappa-h.org

npo harappa



いまを感じる —この映画3本 …秋の harappa 映画館 part2

都会を好きになった瞬間、自殺したようなものだよ。塗った爪の色を、きみの体の内側に探したってみつきりやしない。
夜空はいつでも最高密度の青色だ。 — 最果タビ (詩集「夜空はいつでも最高密度の青色だ」より)

「二段ベッドでセックスするなんて本当におかしいわ」佐知子はあおむけになっていって、トマトを食べた。僕も一つ食べた。それから僕らは静雄が帰ってくる前に、急いで身づくろいした。 — 佐藤泰志 (小説「きみの鳥はうたえる」より)

体温の上昇が伝わっている気がして、まぶたを開けるのを躊躇した。二秒後の私たち、これが最後だとわかって無理して、ふたりともほほえんだ。さよならくちびる。 — 秦基博 (主題歌「さよならくちびる」より)

詩がある。小説がある。そして歌がある。どのフレーズにも「いま」がある。
だったら映画は？

夜空はいつでも最高密度の青色だ

監督・脚本：石井裕也 / 2017年 / 日本 / 108分



(C) 2017「映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ」製作委員会

看護師をしながら夜はガールズバーで働く美香(石橋静河)。彼女はいつも死の近くにいる。工事現場で日雇い仕事をしている慎二(池松壮亮)。彼の左目は生まれつき見えない。二人とも東京での生活に居心地の悪さを感じている。そんな二人が出逢う。二人は触れあわない。でも絆を感じる。最果タビの同名詩集にインスパイアされ、不器用で、ひりひり痛い恋物語が映画となった。

☆キネマ旬報 2017年ベストテン日本映画部門第1位

きみの鳥はうたえる

監督・脚本：三宅晶 / 2018年 / 日本 / 106分



(C) HAKODATE CINEMA IRIS

失業中の静雄(染谷将太)と暮らす僕(柄本佑)の恋人は佐知子(石橋静河)だ。長く楽しい夜とその果ての朝、三人は函館のまちをさまよう。「僕にはこの夏がいつまでも続くような気がした」。佐知子がつぶやく。「若さって、なくなっちゃうものなのかな」そう、終わりは来る。三宅唱の手で佐藤泰志の原作より「僕」にフォーカスされた、冒頭から終わりまで苦しくも輝かしい「いま」が綴られる、まぎれもない青春映画。

☆映画芸術 2018年ベストテン第1位

さよならくちびる

監督・脚本：塩田明彦 / 2019年 / 日本 / 116分



(C) 2019「さよならくちびる」製作委員会

インディーズ・シーンで注目を集めるハル(門脇麦)とレオ(小松菜奈)。心が通っているはずなのに二人はそっぽを向きあい、とうとうローディ兼マネージャーのシマ(成田凌)とともに、浜松、大阪、新潟、酒田、弘前そして函館へと解散ツアーに向かう。ライブで二人が歌う「さよならくちびる」は秦基博の書き下ろし。あいみょんもこの映画のために2曲作った。三人は本当にさよならするの？青春ロードムービーの行き先はどこ？

ゲスト：塩田明彦『さよならくちびる』監督



1961年生まれ。立教大学在学中より自主制作映画を作り始める。83年、『ファララ』がぴあフィルムフェスティバルに入選する。その後、大和屋竺のもとで脚本を学ぶ。99年、初の長編映画『月光の囁き』がロカルノ国際映画祭に出品、同年第24回報知映画賞新人賞を受賞、同年『どこまでもいこう』『月光の囁き』で日本映画監督協会新人賞、2000年第9回日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞。01年『害虫』でナント三大陸映画祭審査員特別賞および主演女優賞(宮崎あおい)。04年『黄泉がえり』で第27回日本アカデミー賞優秀監督賞・優秀脚本賞。05年『カナリア』でレイダンス映画祭グランプリを受賞。主な作品に『どろろ』『抱きしめたい—真実の物語—』『風に濡れた女』(ロカルノ国際映画祭若手審査員賞)などがある。

◎チケット予約

harappa ウェブサイトの専用フォームからお申込みいただくか、件名に「harappa 映画館」とし、お名前、電話番号、メールアドレス、希望枚数を記載の上、電話または E-mail にてご予約ください。

電話 0172-31-0195(平日9時~17時) E-mail post@harappa-h.org URL <http://harappa-h.org>